



NTT東日本関東病院 臨床研修センター

初期研修医

1学年:内科系6名、外科系6名

2学年合わせて24名

当院における初期臨床研修の歴史

- 1959年度 医師実地修練生教育開始
- 1968年5月 厚生省の指定による臨床研修病院
レジデント研修開始、レジデント研修委員会開催開始
- 1999年 レジデント部会長に落合慈之脳神経外科部長が就任
- 2002年 研修プログラムの大改編
研修管理委員会委員長: 亀山周二泌尿器科部長
- 2003年 研修管理委員会委員長: 臼杵憲祐血液内科部長
- 2004年 研修管理委員会委員長: 林道夫糖尿病内分泌内科部長
7月 卒後新臨床研修制度開始(内科系6名 外科系6名)
- 2006年 研修管理委員会委員長: 吉澤利弘神経内科部長
- 2009年 新規卒後臨床研修評価受審
- 2011年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2014年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2018年 研修管理委員会委員長: 渋谷祐子高血圧腎臓内科部長
- 2018年 更新卒後臨床研修評価受審
- 2022年 研修管理委員会委員長: 赤羽敦也ガンマナイフセンター長
12月 更新卒後臨床研修評価受審

研修管理委員会の構成

委員長	赤羽ガンマナイフセンター長
プログラムA責任者	松下総合診療科部長/リウマチ膠原病内科部長/循環器内科主任医長
プログラムB責任者	佐藤外科主任医長
医師	市川血液内科主任医長/大嶋整形外科医長/ 日下部放射線科医長/坂間総合診療科医長/佐々江国際診療科部長/ /田中外科医長/佐藤高血圧・腎臓内科医師/藤田肝胆膵内科医長/ 古殿高血圧・腎臓内科主任医長
研修医	2名(当番制)
看護師	吉川副看護部長・天野主任看護師長
コメディカル	福地放射線部技師長/佐藤薬剤部薬剤長/田澤臨床検査部副技師長/ 中山総合相談室社会福祉士
事務	高橋人事・育成担当課長
外部委員	坂本副学長(東京医療保健大学)/藤島総合診療科部長(NTT東日本 伊豆病院)/江頭総合研修センター長(東京大学医学部附属病院)/ 林救急科部長・救命救急センター長(日赤医療センター)
事務局	高橋人事・育成担当課長/守岡育成担当/松澤育成担当

研修プログラムの特徴-1

卒後2年間の初期研修において、すべての研修医に対し、まずは医師としての基本的な人格を育成し、医学・医療に対する社会的要請を認識しつつ、プライマリケアを中心とした基本的な診療能力を身につけさせることが、この研修プログラムの主目的である。

研修プログラムの特徴-2

- このプログラムでは、地域の基幹病院であり、これまで全国公募の下、研修医指導の実績があるNTT 東日本関東病院で集中的に研修目標の習得を行なう。
- 同様の診療・指導体制をとることができるNTT 東日本伊豆病院にて地域医療研修を行い、都心では不十分と思われるこの分野での研修を補完していることが特徴となっている。
- 症例数の少ない都心での小児科研修にあたっては、東京大学医学部附属病院にて小児科研修を行う。
- 日本赤十字社医療センターでの救急科研修も選択可能。

■プログラムA（内科系）研修スケジュール例

1年目					2年目						
内科：7科	外科	麻酔科	一般外来	救急科	脳血管内科 (SCU)	産婦人科	小児科(東大)	精神神経科	伊豆病院 (地域医療)	放射線科	選択科
7ヶ月	2ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	6ヶ月

【1年目】

■ **内科必修7科**： 消化器（肝胆膵）、循環器、呼吸器、腎臓、糖尿病、脳神経、血液

■ **選択科**： なし

※ 1年次の必修内科は7科と幅広く、初期臨床研修において経験すべき内科疾患を経験することができる。

※ 一般外来4週、麻酔科4週、外科は8週、救急科4週も1年次にローテーションすることになっている。

 必修研修科
 選択研修科

【2年目】

■ **選択科～8週間～**

消化器（肝胆膵 or 消化管）、呼吸器、脳神経内科、脳血管内科、血液内科、腎臓内科、総合診療科から1科選択

■ **選択科～残りの期間（約4か月）～**

感染症、リウマチ膠原病、消化管内、脳血管内、腫瘍、緩和、心臓血管外科、脳神経外科、ガンマナイフ、泌尿器、乳腺、形成、皮膚、眼、耳鼻・頭頸部、ペイン、スポーツ整形、リハ、病理、3次救急(日赤)または1年目2年目の必修科を再度研修

※ 2年次には、プログラムBと共通の地域医療4週(伊豆病院)、脳血管内科(SCU)4週、小児科4週、産婦人科4週、精神神経科4週、放射線科4週以外に残りの6か月を約4週ごとに選択できる。

■プログラムB（外科系）研修スケジュール例

1年目					2年目							
内科	外科	麻酔科	一般外来	整形外科	救急科	脳血管内科 (SCU)	産婦人科	小児科東大	精神神経科	(地域医療) 伊豆病院	放射線科	選択科
6ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	5ヶ月

【1年目】

■ **内科必修5科**：消化器（肝胆脾）、循環器、呼吸器、腎臓、糖尿病

■ **選択科（内科）**：脳神経 or 血液 から選択

※術前/術後管理に欠かすことができない5科を必修内科とし、加えて1科を選択としている。

※外科系医師にとって基本的な知識と手技を習得するため、1年次に外科12週（プログラムAでは8週）、整形外科（プログラムAでは必修でない）4週が必修となっているのが特色である。

※一般外来4週と麻酔科4週はプログラムAと共通である。



【2年目】

■ **選択科～8週間～**

外科、産婦人科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、泌尿器科から1科選択

■ **選択科～残りの期間（約3か月）～**

感染症、リウマチ膠原病、消化管内、脳血管内、腫瘍、緩和、心臓血管外科、脳神経外科、ガンマナイフ、泌尿器、乳腺、形成、皮膚、眼、耳鼻・頭頸部、ペイン、スポーツ整形、リハ、病理、3次救急(日赤)または1年目2年目の必修科を再度研修

※2年次には、プログラムAと共通の地域医療(伊豆病院)4週、脳血管内科(SCU)4週、小児科4週、産婦人科4週、精神神経科4週、放射線科4週と救急科を4週、残りの5か月（プログラムAは6か月）を約4週ごとに選択できる。

（実際の研修スケジュールは研修医毎に異なります。）

教育に関連する行事

○ オリエンテーション:

診療を開始するまでの期間に、全研修医を対象にオリエンテーションを行う。オリエンテーションでは、実際の診療を開始する上ですべての研修医に共通に必要な研修項目として、医師の心得、インフォームド・コンセント、電子診療録の扱い方、保険診療、諸検査、放射線取り扱い、薬剤処方、書類の取り扱い、当直体制・救急患者の対応、院内感染対策、リスク管理、図書館・文献利用、等を主に実習によって研修する。

また、初年度に基礎研修科目への配属時に、研修医は担当指導医から、各科の科内ルール、診察法・検査法等についてのオリエンテーションを受ける。

2023.4 オリエンテーション スケジュール表(1～3日目)

時間	2023/4/3(月) 1日目	2023/4/4(火) 2日目	2023/4/5(水) 3日目
8:30		■NTTの社会的責任(30分) ・労務に関する基本条件等 ・NTTグループ企業倫理憲章 ・CSRについて	■テルモ御殿場研修(院外施設) ・採血・点滴研修等 8:15 出発
9:00	■入社式(60分) ・辞令交付 ・院長挨拶/講話	■人権啓発60分 ・同和問題、男女雇用機会均等法	↓
9:30	・写真撮影	■情報倫理(60分)	↓
10:00	■院内クルーズ(70分)		↓
10:30		休憩(10分)	
11:00	■医師にプロフェッショナリズムについて(20分)	■環境保安活動について(10分) ■災害・防災管理(50分) ・院内防災設備 ・災害時の対応 ・院内連絡体制	
11:30	■看護部/看護部長講話(30分)	■院内防災設備の実際(動画)(15分)	
12:00	昼休憩(60分)	昼休憩(60分)	
12:30			
13:00	■医事-保険診療関係(15分)	■感染管理対策室について(180分) 【講義】 ・院内感染防止対策 ・感染発生時の対応	
13:30	■病歴-診療情報関係(30分)		
14:00	■保険診療について(30分)	【実技】 ・スタンダードプリコーション ・衛生的な手洗い ・PPEの着脱 ・N95マスク着脱	
14:30	休憩(10～15分) ■薬剤部(30分)	※途中休憩10分程度あり	
15:00	移動(10分)		
15:30	■クロスマッチ研修(60分) ※4名参加 ※スクラブ着用 ■図書館(30分) ・文献検索 ※6名参加		
16:00	休憩(10分)	■当院の指針(ポリシー)(60分)	
16:30	■クロスマッチ研修(60分) ※4名参加 ※スクラブ着用 ■皮膚科受診(30分) ・放射線従事者検査 ※4名参加		
17:00			↓ ↓ ↓
17:30			帰着
18:00			

2023.4 オリエンテーション スケジュール表(4～5日目/日直見学)

時間	2023/4/6(木) 4日目	2023/4/7(金) 5日目	2023/4/8(土)
8:30	■ビジネスマナー研修(210分)	■ビジネスマナー研修(210分)	■救急日直見学(8:30~12:30) ※3名参加
9:00			
9:30			
10:00			
10:30			
11:00			
11:30			
12:00	昼休憩(60分)	昼休憩(60分)	
12:30			
13:00	■血液および血液製剤の取扱い(40分)	■電子カルテ習得(240分) ※12名分静脈認証登録あり	■救急日直見学(13:00~17:00) ※3名参加
13:30			
	休憩(10分)		
14:00	■当院の医療安全体制(150分)		
14:30			
15:00			
15:30			
16:00			
	移動(10分)		
16:30	■皮膚科受診(30分) ・放射線従事者検査 ※4名参加		
17:00	(17:00~21:00) ■当直見学 ※2名参加	■当直見学(17:00~21:00) ※2名参加	
17:30			
18:00			

2023.4 オリエンテーション スケジュール表(6～7日目)

時間	2023/4/10(月) 6日目	2023/4/11(火) 7日目
8:30	■身体拘束ゼロ化取組み(25分)	■栄養部(20分)
9:00	■疼痛WG(20分)	■総合相談室(30分)
9:30	移動・休憩(10分) ■手術室(30分)	休憩(10分) ■救急-当直および災害関連(40分)
10:00	■麻酔科(30分)	■研修管理委員会事務局(50分)
10:30	■病理検査(15分)	
11:00	移動・休憩(10分) ■輸血部自己血採血研修(60分) (日本赤十字講師)	休憩(10分) ■検査部オリエンテーション(ツアー)
11:30		
12:00	昼休憩(60分)	昼休憩(60分)
12:30		
13:00	■放射線診療について(30分)	■縫合・包帯交換等実習(140分)
13:30	■BLS研修(140分)	
14:00		
14:30		
15:00		
15:30		休憩(30分) ■人事労務関連(30分)
16:00	休憩(10分) ■クロスマッチ研修(60分) ※4名参加 ※スクラブ着用 ■図書館(30分) ・文献検索 ※6名参加	■ME機器研修(30分)
16:30	■皮膚科受診(30分) ・放射線従事者検査 ※4名参加	■個人PC配布と使用方法説明会(40分)
17:00	■当直見学(17:00~21:00) ※2名参加	
17:30		■2年目研修医救急症例発表(60分)
18:00		

講習会

- Immediate Cardiac Life Support (ICLS) 講習会
- Japanese Medical Emergency Care Course: 日本内科学会認定内科救急 (JMECC) 講習会
- 緩和ケア講習
- BLS (一時救命処置) 研修
- ACLS (二次心肺蘇生法) 研修



その他 病院全体のカンファレンス

クリニカルボード キャンサーボード	毎週
クリニカルカンファレンス	毎月
デスカンファレンス(CPC) 毎月	毎月
医療安全管理委員会	毎月
総合消防訓練	年1回
災害トリアージ研修会	年1回
緩和ケア研修会(2年次)	年1回
病院幹部との意見交換会	年2回
感染対策講演会	年2回
医療安全研修(リスク管理講習会)	年2回
電子診療録講習会	年2回

研修医参加の委員会

- 研修管理委員会(毎月第2木曜日)
- 感染対策委員会(毎月第4木曜日)
- 救急委員会(毎月第3月曜日)
- 医療安全委員会(毎週水曜日)

研修医参加のイベント

- レジナビフェア 毎年7月頃
- 総合防災訓練 毎年10月頃



研修医が自主的に行っている勉強会

毎週水曜日AM7:00～

過去のテーマ（2016年より開始）

- ・CPA対応 ・C-HOT(胸痛) ・t-PAガイドライン変更点
- ・輸液 ・胸部X線写真 ・酸素投与 ・心電図 ・血液ガス
- ・脳卒中 ・腹痛へのアプローチ ・整形外科疾患 ・めまい ・NHCAP
- ・TPN ・ウェルニッケ脳症 ・睡眠薬 ・せん妄・不穏 ・鎮痛薬
- ・ERでの小外科 ・SHOCK ・抗血栓療法 ・虫垂炎・イレウス・腸閉塞
- ・気管支喘息 ・人工呼吸器とモード ・腹部単純写真 ・Af ・失神
- ・膵炎 ・貧血 ・皮疹・外用薬 ・循環作動薬 ・ステロイドの基礎知識
- ・AKI ・利尿薬 ・2型糖尿病治療のエビデンス ・心エコー ・ARDS
- ・肝腎症候群 ・降圧薬の使い方 ・高血圧緊急症 ・栄養療法 ・心不全
- ・てんかん ・顔面神経麻痺 ・抗菌薬の使い分け ・敗血症
- ・頻用薬の使い分け ・ショックの対応 ・縫合糸の選択 他

研修医業績(2022~2023年度)

	学会名	演題
朱暁人	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2023 東京	透析患者の化膿性椎間板炎による敗血症ショックの一例
朱暁人	第78回消化器外科学会総会	S状結腸原発Micropapillary Carcinoma の一切除例
田中大智	第245回日本神経学会 関東・甲信越地方会	重症ギラン・バレー症候群の経過中に腹腔内出血をきたし、血管造影にてSAM(segmental arterial mediolysis)の合併を疑った57歳男性例
辻有恒	医学生・研修医・専攻医の日本内科学会ことはじめ2023 東京	ESA・HIF-PH阻害薬抵抗性貧血に対し骨髄検査を行ったところ結核性リンパ節炎および骨髄異形成症候群の診断となり良好なコントロールを得られた一例
吉本宗弘	第686回内科学会 関東地方会	炭酸リチウムによる腎性尿崩症に対し、デスマプレシンが有効であった1例
上野啓輔	第78回消化器外科学会総会	A case of transverse colonic ganglioneuroma who underwent laparoscopic partial transverse colectomy
大下冬馬	第255回日本呼吸器学会 関東地方会	Schizophyllum commune(スエヒロタケ)によるアレルギー性気管支肺真菌症の一例
菊地咲良	第95回日本胃癌学会 総会	早期胃癌に対して根治度Aの内視鏡治療後に半年で治療癒痕直上にsm massive胃癌の出現を新たに認めた1例
小池輝	第78回消化器外科学会総会	十二指腸球部から下行脚にかけての広範囲の潰瘍穿孔に対して腹腔鏡下に穿孔部を切除した一例
逸見莉子	第84回日本臨床外科学会総会	診断に難渋した神経内分泌腫瘍の1例
逸見莉子	第687回日本内科学会 関東地方会	急性発症1型糖尿病, 全身性エリテマトーデス, 肺結核を同時期に発症した1例

卒後臨床研修制度導入後の研修医進路

	H26.3 (H24.4採用)		H27.3 (H25.4採用)		H28.3 (H26.4採用)				
	病院名	診療科	病院名	診療科	病院名	診療科			
内科系	1	同愛記念病院	皮膚科	1	当院	循環器内科	1	東京逓信病院	神経内科
	2	東京大学病院	腎臓内科	2	浜松医科大学第3内科	循環器内科	2	東京大学工学部	研究室
	3	当院	心療内科	3	国立がん研究センター中央病院	麻酔科	3	東京逓信病院	神経内科
	4	東京大学病院	腎臓内科	4	小倉記念病院	循環器内科	4	当院	消化器内科
	5	東京大学病院	血液内科	5	都立大久保病院	麻酔科	5	国立国際医療研究センター	神経内科
	6	上大崎クリニック		6	東京大学医学部附属病院	呼吸器内科	6	-	-
外科系	7	筑波大学病院	小児外科	7	会津中央病院	脳外科	7	当院	泌尿器科
	8	埼玉県立がんセンター	泌尿器科	8	神奈川県立がんセンター	産婦人科	8	効率阿伎留医療センター	
	9	東京大学大学院	病因病理学	9	関東労災病院	整形外科	9	国立国際医療研究センター	脳外科
	10	慶応大学病院	脳神経外科	10	当院	泌尿器科	10	当院	泌尿器科
	11	当院	脳神経外科	11	当院	整形外科	11	市原病院	整形外科
	12	東京大学病院	外科(肝・胆・膵)	12	横浜市立みなと赤十字病院	外科	12	-	-

	H29.3 (H27.4採用)		H30.3 (H28.4採用)			
	病院名	診療科	病院名	診療科		
内科系	1	当院	血液内科	1	慶応義塾大学附属病院	産婦人科
	2	国立国際医療研究センター	膠原病科	2	東京大学医学部附属病院	産婦人科
	3	当院	血液内科	3	当院	高血圧・腎臓内科
	4	当院	循環器内科	4	当院	循環器内科
	5	日本医科大学多摩永山病院	呼吸器内科	5	東京大学医学部附属病院	消化器内科
	6	虎ノ門病院	麻酔科	6	東京大学医学部附属病院	神経内科
外科系	7	水戸赤十字病院	産婦人科	7	当院	病理診断科
	8	横浜労災病院	整形外科	8	慶応義塾大学附属病院	麻酔科
	9	佐久間市立浅間総合病院	整形外科	9	東京慈恵会医科大学附属病院	耳鼻科
	10	当院	外科	10	東京大学医学部附属病院	整形外科
	11	東京大学病院	救急科	11	当院	外科
	12	虎ノ門病院	脳神経外科	12	当院	泌尿器科

卒後臨床研修制度導入後の研修医進路

	H31.3 (H29.4採用)		H32.3 (H30.4採用)		R3.3 (H31.4採用)				
	病院名	診療科	病院名	診療科	病院名	診療科			
内科系	1	自治医科大学付属病院	消化器内科	1	当院	血液内科	1	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科
	2	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科	2	当院	消化器内科	2	東京大学医学部付属病院	神経内科
	3	当院	放射線科	3	焼津市立総合病院	小児科	3	さいたま赤十字病院	呼吸器内科
	4	当院	循環器内科	4	東京大学医学部付属病院	血液内科	4	当院	耳鼻咽喉科
	5	日本医科大学付属病院	循環器内科	5	東京大学医学部付属病院	小児科	5	当院	呼吸器内科
	6	東京大学医学部付属病院	脳神経内科	6	国立国際医療研究センター	呼吸器内科	6	-	-
外科系	7	横浜市立大学付属病院	消化器内科	7	当院	泌尿器科	7	東京医科歯科大学病院	救急科
	8	当院	外科	8	東京大学医学部付属病院	耳鼻咽喉科	8	東京大学医学部付属病院	泌尿器科
	9	山梨大学医学部付属病院	消化器外科	9	当院	外科	9	当院	脳神経外科
	10	山梨大学医学部付属病院	整形外科	10	自治医科大学付属病院	泌尿器科	10	当院	外科
	11	当院	産婦人科	11	東京大学医学部付属病院	整形外科	11	東京医科歯科大学病院	
	12	当院	脳神経外科	12	昭和大学付属病院	産婦人科	12	東京大学医学部付属病院	整形外科

	R4.3 (R2.4採用)		R5.3 (R3.4採用)			
	病院名	診療科	病院名	診療科		
内科系	1	東京大学医学部付属病院	小児科	1	東京医療センター	腎臓内科
	2	日本赤十字社医療センター	消化器内科	2	東京大学医学部付属病院	小児科
	3	横浜みなみ共済病院	呼吸器内科	3	当院	病理診断科
	4	当院	循環器内科	4	国立国際医療研究センター	呼吸器内科
	5	東京大学医学部付属病院	皮膚科	5	順天堂大学医学部附属順天堂医院	乳腺外科
	6	東京通信病院	消化器内科	6	当院	血液内科
外科系	7	当院	消化器外科	7	北九州市立医療センター	産婦人科
	8	東京医科歯科大学付属病院	産婦人科	8	横浜市立大学附属市民総合医療センター	呼吸器外科
	9	聖路加国際病院	産婦人科	9	東京大学医学部付属病院	整形外科
	10	神奈川県立がんセンター	泌尿器科	10	横浜市立大学附属病院	脳神経外科
	11	名古屋大学病院	脳神経外科	11	国立国際医療研究センター	消化器内科
	12	東京医科歯科大学付属病院	外科	12	東京都立墨東病院	NICU

当院で
あなたも一緒に学びましょう！
お待ちしております!!

臨床研修センター、研修医一同

